

医療安全管理室からのお知らせ 4 “薬剤科の取り組み”



三重病院の薬剤科では患者様のお薬を、正しく安全にお渡しするための取り組みをしています。今回はその一部をご紹介します。

1) 散剤(粉薬)の調剤

散剤の調剤には、**散薬監査システム**(写真1)と**散薬自動分包機**を使用しています。

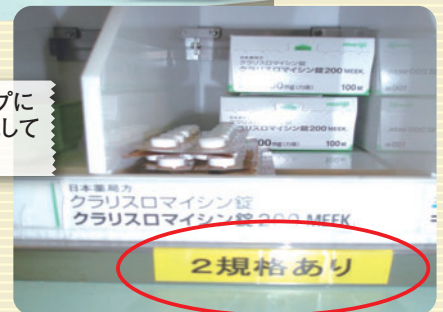
散薬監査システムは、医師の処方データがそのまま機械に送られ、かつ、間違わないよう調剤できる方法です。登録バーコードとはかり取る薬品のバーコードが一致しないと調剤できないよう、つまり、医師が処方した薬品と同じ薬品でなければ調剤できないようになっています。

2) 錠剤の調剤

錠剤の調剤には、錠剤分包機と手作業で錠剤を取りそろえる2つの方法があります。同じ成分で量(規格)が異なる薬には取り出す時に注意するように**目立つラベルを貼って注意喚起**をしています。(写真2)しかし、人間が取りそろえる場合十分注意してもミスが起きるため**2人の薬剤師の目で見て監査**します。



(写真1) 散薬監査システムで間違いなく調剤



(写真2) 黄色のテープに大きく大きく記して要注意

3) 注射の調剤

注射の調剤は準備した薬剤師と別の薬剤師が確認する**ダブルチェック体制**で、2人の薬剤師が間違いのないよう病棟に払い出します。

(薬剤科医療安全推進担当者 小池 元)

医療福祉相談室だより

医療福祉相談室には小さな図書があります。

子どもの病気(難病・発達障害・こころの病気)に関するものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる本、話題の本などおいています。

今月のイチオシ

「ダース・ヴェイダー™とルーク(4歳)」

ジェフリー・ブラウン/作 とみながあきこ/訳
辰巳出版

スターウォーズについては、主人ほど興味がなくよくわからない私ですが、もしダース・ヴェイダーが育メン(MEN)だったら…というお話です。暗黒卿が、銀河の彼方で育児してたらこんな感じなのだろうとユーモア

たっぷりにかかれています。世のスターウォーズ世代のパパとシンクロして、がんばれ!と失笑しつつもほろっとしますよ。

(医療福祉相談室 高村 純子)



健康カレンダー 9月

2012 **9** SEP.

救急の日と救急医療週間

9月9日救急の日は、厚生省(現在の厚生労働省)が1982年に制定したもので、「きゅう(9)きゅう(9)」の語呂合せでできました。覚えやすいですね。

救急医療週間は、今年2012年は、9月9日から15日の1週間。厚生省(現在の厚生労働省)が1982(昭和57)年に制定、「救急の日」を含む日曜日～土曜日の一週間としました。ともに、**救急業務や救急医療について一般の理解と認識を深め、救急医療関係者の士気を高める日あるいは週間**です。

ご家庭での救急、災害時の救急などの対策を改めて考えたり、備品や常備薬などのチェックをするいい機会になるかもしれませんね。